

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

＜先週の説教から＞

『平和聖日・ヘブライ54- 平和の契約』

武田真治牧師

エゼキエル書 37 : 24-28 ヘブライ手紙 13 : 18-21

教団の暦・行事では、本日は平和聖日と定められています。この日を定めようと提案した人達は、原爆に被爆された広島牧師たちでした。その中心人物が当時、広島教会の牧師であった四竈一郎師であり、その提案が西中国教区総会で可決された時の総会会場も広島教会でした。そして本日は8月6日です。私も広島教会に居りました時、この日は欠かさず原爆ドームのある平和記念公園に行き（＝夏期伝道実習生と一緒に）、朝8時から行われる平和記念集会に出席していました。そして午後には超教派で持たれる記念礼拝に、夜には慰霊碑の側で持たれる追悼礼拝に出掛けていました。勿論、そのような悲惨な結果をもたらすものだから戦争に反対するのですが、私たちキリスト者は何より、神様がこのような戦争を望まれていない、悲しんでおられるからこそ、戦争が止まりますように、二度と起こさないようにと願うのです。

そのことが今日の聖書箇所にも出てきます。即ち「わたしたちの主イエスを、死者の中から引き上げられた平和の神が、御心に適うことをイエス・キリストによってわたしたちにしてください、御心を行うために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださるよう」と。この“平和の神”という表現はヘブライ書だけでなく「平和の源である神があなたがた一同と共におられるように（ローマ 15 : 33）」や「どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように（テサロニケ I、5 : 23）」などたくさん出てきます。私たちが戦争に反対する理由は、それが残酷で何も良き物をもたらさないからだけでなく、何より神様が“平和の神”であり、平和を望んでおられるからです。

更に、このことはただ戦争に関するだけでなく、コリント II、13 章 11 節には「終わりに、兄弟たち、喜びなさい。思いを一つにきなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。」とあ

りますように、日常生活や教会生活での“争い”も神様が望まれない、悲しまれることをも含んでいます。

従って、今日の箇所の“御心に適うこと”も、お互いの関係の中で“平和＝和解と和みへと繋がる行為や業”と見做すことができます。そしてそれは何より「イエス・キリストによってわたしたちに」与えられるものであり、その“平和＝和解と和みへと繋がる行為や業”を私たちが「行うために、すべての良いものをあなたがたに備えてくださる」方がまことの神様であり、そのように私たちを“導いてくださっている”と。逆に言えば、教会員同志、教会間や教区や教団で争うことはとても恥ずかしいことではないでしょうか。私たちひとり一人が“平和の使者”でありたい！

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 8月16日(水) 休会
II. 8月17日(木) 休会

【教勢報告】

主日礼拝 男 18 女 54 計 72
祈禱会 I. 男 5 女 3 計 8 II. 男 2 女 6 計 8
日曜学校 幼稚科 4 小中科 9 計 13

【次週主日礼拝】 8月20日(日)

聖書：ミカ書 1 : 1～16
ルカによる福音書 16 : 27～31

説教：『ミカ①— 諸国の民よ、聞け』

武田真治牧師

讃美歌：6(1)、32、425(1～3)、425(4～6)、394(1～3)、28

【次週当番表】

司式：保坂長老 奏楽：須田 礼拝：金刺長老
献金：鈴木 関根 受付：飯島 吉岡
会堂準備：小杉 富澤 長田 橋本
北條

看板：曾我 週報：吉岡

【次週集会予定】

礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後：・お茶の会 ・牧師と語る会・聖歌隊練習

2023年 8月 13日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>